

共通課題2
年がら年じゅう走りまわって

一般の部

タクシーの客にウケてる出雲弁

(江津) 花田 美昭

優秀賞

新任の教師大きな声を出し

(松江) 田中 望太

時々座ってみたらサザエさん

(美郷) 芦矢 敦子

あの角に白バイいつも隠れてる

(松江) 大戸マリコ

御朱印の転売をする罰当たり

(松江) 小谷由紀子

クイズです私の仕事なんですよ

(美郷) 源 瞳子

母の呼ぶ声思い出すごはんだよ

(松江) 花井 寛子



(挿絵・麦倉うさぎ)

気がつけばあつという間に古稀となり

(埼玉・所沢) 栗田 枝

リベンジに燃える鬼は亀を追い

(埼玉・越谷) 西村 勇介

築百年天井裏の運動会

(松江) 持田 高行

いつの間に敬老会の招待状

(出雲) 永見 卓

こけて泣き起きて笑って生きていく

(広島・福山) 福本亜矢子

うっかりと三途の川を渡りかけ

(出雲) 行長 好友

タスキかけ夢は箱根の山の神

(松江) 佐々木 滋子

体重は増える減るのはお腹だけ

(静岡・三島) 鈴木 春菜

人生のどこかでなにか置き忘れ

(江津) 大岩 郁夫

ジュニアの部

チクタクと長針短針時刻み

(三重・津田学園高校1年) 森下 結友

優秀賞

全力でサッカーボール追いかけて

(三重・津田学園高校1年) 市川湖々音

お父さんいつもお仕事ありがとう

(三重・津田学園高校1年) 野口 恵里

園児たちどこから来るのその元氣

(三重・津田学園高校1年) 続石こい

いつ見ても働いているお母さん

(三重・津田学園高校1年) 加藤 結

シュートまでみんなでつなぐ部活動

(三重・津田学園高校1年) 水谷 梨愛



(挿絵・AZU)

第2回

さんいん
ユーモア
連歌大賞

入選作品発表

日本古来の歌のかたち「連歌」の山本真利亜さん、課題2は「歌」を多くの人に親しんでもらおうと、山陰中央新報社が創設した第2回「さんいんユーモア連歌大賞」(後援・島根大「やみつくば会」)の受賞作が決まった。大賞は、一般の部課題1で益田市小浜町の可部章二さん(73)、課題2で、江津市波積町の花田美昭さん(68)がそれぞれ選ばれた。

高校生、高専生に中学生以下を参加対象に加えたジュニアの部の大賞は、課題1が、松徳学院高校(松江市)2年

審査員

委員長 植田 延裕 (松江市・交通局職員)

下房 桃庵 黒田 光 (益田市・詩人)

委員 小豆澤悦子 (松江市・フリーライター)

松江市・レッツ連歌挿絵担当 石川アキオ (松江市・島根大教授)

五十音順、敬称略



下房桃庵氏

選評

一般の部、課題1の大賞は、「二両車」が、前句の「無人駅」のように、だれでも知っている映画やアニメを詠み込んだ名作の難を逃れないところです。大賞には5千円分、優秀賞には1千円分の図書カードを贈る。

課題2も、前句の「走りまわって」大賞の「タクシ」とは、それほど離れているわけではありませぬ。美人にはめったに、忙しく走りまわらなくていい。必要は、まったくありません。と申します。

ジュニアの部の大賞は、課題1は、若者らしい元氣のよさ、課題2は、他に類を見ないユニークな発想を、それぞれ評価します。

「本歌取り」意識して

ひところ救いもありました。昨年、ジュニアの部で大賞、優秀賞に輝いた可部章二さん、鈴木春菜さんは、大賞、優秀賞に輝いた。

共通課題1
改札にトンボのとまる無人駅

一般の部



(挿絵・AZU)

大賞

コスモス揺らし一両車着く

(益田) 可部 章二

優秀賞

寅さん追ってマドンナが来て

(松江) 加茂 京子

逆手に取った山村留学

(美郷) 源 連城

トトロの家まで徒歩十五分

(松江) 山崎 けい

青空仰ぎ待つは猫バス

(松江) 水野貴美子

伝言板に今日はカレーよ

(安来) 角森 玲子

別れ惜しんだ十八の夏

(江津) 岡本美津子

大賞

それでも僕はこの町が好き

(松徳学院高校2年) 山本真利亜

優秀賞

きょうはじめてのお客さんです

(三重・津田学園高校1年) 井関 ひな

おかえりなさいどこ行つたの

(三重・津田学園高校1年) 中島 海拓

雨がやむまでいつしよにいようよ

(三重・津田学園高校1年) 上陸 琳音

ぼくも切符を買ってみたい

(三重・津田学園高校1年) 圓淨 結香

静かに迫る秋の夕暮れ

(松徳学院高校2年) 清水 皓太

ジュニアの部



(挿絵・麦倉うさぎ)